

### Ⅲ 医療施設

(平成20年医療施設調査及び病院報告から)

注1) 本調査における診療科目について

医療機関が標ぼうする診療科名については、従来、医療法施行令に具体的名称を限定列挙して規定していたところであるが、適切な医療機関の選択と受診を支援する観点から、身体の部位や患者の疾患等、一定の性質を有する名称を診療科目とする柔軟な方式に改められ、平成20年4月1日から施行されたところである。

この改正を受け、本調査において調査項目を変更し、以下のとおり表章することとなった。

平成20年調査

1	内科
2	呼吸器内科
3	循環器内科
4	消化器内科(胃腸内科)
5	腎臓内科
6	神経内科
7	糖尿病内科(代謝内科)
8	血液内科
9	皮膚科
10	アレルギー科
11	リウマチ科
12	感染症内科
13	小児科
14	精神科
15	心療内科
16	外科
17	呼吸器外科
18	心臓血管外科
19	乳腺外科
20	気管食道外科
21	消化器外科(胃腸外科)
22	泌尿器科
23	肛門外科
24	脳神経外科
25	整形外科
26	形成外科
27	美容外科
28	眼科
29	耳鼻いんこう科
30	小児外科
31	産婦人科
32	産科
33	婦人科
34	リハビリテーション科
35	放射線科
36	麻酔科
37	病理診断科
38	臨床検査科
39	救急科
40	歯科
41	矯正歯科
42	小児歯科
43	歯科口腔外科

<参考>平成19年調査

1	内科
2	呼吸器科
3	消化器科(胃腸科)
4	循環器科
5	小児科
6	精神科
7	神経科
8	神経内科
9	心療内科
10	アレルギー科
11	リウマチ科
12	外科
13	整形外科
14	形成外科
15	美容外科
16	脳神経外科
17	呼吸器外科
18	心臓血管外科
19	小児外科
20	産婦人科
21	産科
22	婦人科
23	眼科
24	耳鼻いんこう科
25	気管食道科
26	皮膚科
27	泌尿器科
28	性病科
29	こう門科
30	リハビリテーション科
31	放射線科
32	麻酔科
33	歯科
34	矯正歯科
35	小児歯科
36	歯科口腔外科

# 1 病院

## (1) 病院数

ア 平成20年10月1日現在の病院数は、355施設であり、前年（356施設）に比べ、1施設減少している。

イ 人口10万対病院数は、5.0施設であり、前年と同数である。これを全国（6.9施設）と比較すると、1.9施設少なく、全国第40位である。

ウ 小児科を標ぼうする病院数は132施設であり、前年（133施設）に比べ1施設減少している。産婦人科を標ぼうする施設は40施設であり、前年（40施設）と同数である。

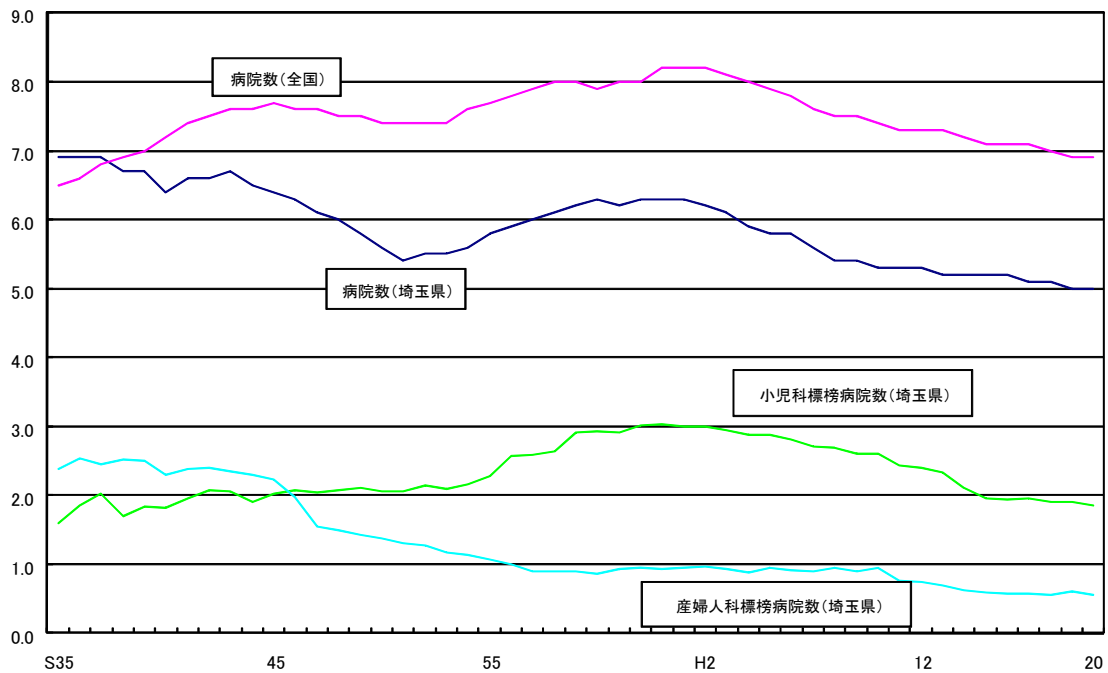
（表1、図1）

表1 病院数の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	18	19	20	
埼玉	施設数	168	193	249	269	311	369	397	377	367	361	359	356	355	
	人口10万対	6.9	6.4	6.4	5.6	5.8	6.3	6.2	5.6	5.3	5.1	5.1	5.0	5.0	
	小児科 標榜	施設数	39	55	78	99	124	172	192	183	167	138	135	133	132
		人口10万対	1.6	1.8	2.0	2.1	2.3	2.9	3.0	2.7	2.4	2.0	1.9	1.9	1.9
	産婦人科 標榜	施設数	58	69	86	66	58	51	62	61	51	40	39	40	40
		人口10万対	2.4	2.3	2.2	1.4	1.1	0.9	1.0	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6
全国	施設数	6 094	7 047	7 974	8 294	9 055	9 608	10 096	9 606	9 266	9 026	8 943	8 862	8 794	
	人口10万対	6.5	7.2	7.7	7.4	7.7	7.9	8.2	7.6	7.3	7.1	7.0	6.9	6.9	

注) 昭和59年以前は12月31日現在、昭和60年以降は10月1日現在

図1 人口10万対病院数の年次推移



## (2) 病床数

ア 平成20年10月1日現在の病院病床数は、62,986床であり、前年（63,062床）に比べ76床減少している。

病床の種類別にみると、一般病床の34,787床（病院病床総数の55.2%）が最も多く、以下、精神病床の14,523床（同23.1%）、療養病床の13,423床（同21.3%）、結核病床の223床（同0.4%）、感染症病床の30床（同0.1%）の順となっている。

一方、全国の平成20年10月1日現在の病院病床数は、1,609,403床であり、前年（1,620,173床）に比べ10,770床減少している。

病床の種類別にみると、一般病床の909,437床（病院病床総数の56.5%）が最も多く、以下、精神病床の349,321床（同21.7%）、療養病床の339,358床（同21.2%）、結核病床の9,502床（同0.6%）、感染症病床の1,785床（同0.1%）の順となっている。

イ 人口10万対病床数は、885.5床であり、前年（889.4床）に比べ3.9床減少している。これを病床の種類別にみると、一般病床489.1床、精神病床204.2床、療養病床188.7床、結核病床3.1床、感染症病床0.4床となっている。

全国は、病床総数が1,260.4床、一般病床712.2床、精神病床273.6床、療養病床265.8床、結核病床7.4床、感染症病床1.4床である。人口10万対病院病床数は全国第46位である。（表2、図2、図3）

表2 病院病床数の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	18	19	20	
埼 床	病 数	総数	12 814	16 533	22 678	27 041	36 216	47 260	59 135	59 348	60 782	62 512	62 751	63 062	62 986
	精神病床	2 736	4 167	6 431	7 098	9 006	10 057	11 786	11 980	12 729	13 928	14 316	14 453	14 523	
	感染症病床	570	599	633	494	275	234	264	274	63	40	44	54	30	
	結核病床	4 819	4 345	3 413	2 515	1 667	1 351	1 188	896	586	273	273	273	223	
	療養病床	.	.	.	.	.	.	.	.	.	14 406	13 469	13 364	13 423	
	一般病床	.	.	.	.	.	.	.	.	.	33 865	34 649	34 918	34 787	
	経過の旧 その他の病床	4 689	7 422	12 201	16 934	25 268	35 618	45 917	46 198	47 404	.	.	.	.	
	(再掲)経過の旧療養型病床群	.	.	.	.	.	.	.	...	7 541	.	.	.	.	
	人 口	総数	527.1	548.4	586.5	560.9	670.6	807.2	923.3	878.0	876.1	886.2	887.4	889.4	885.5
	精神病床	112.6	138.2	166.3	147.2	166.8	171.8	183.7	177.2	183.5	197.4	202.5	203.9	204.2	
感染症病床	23.4	19.9	16.4	10.2	5.1	4.0	4.1	4.1	0.9	0.6	0.8	0.8	0.4		
結核病床	198.3	144.1	88.3	52.2	30.9	23.1	18.5	13.3	8.4	3.9	4.6	3.9	3.1		
療養病床	.	.	.	.	.	.	.	.	.	204.2	190.5	188.5	188.7		
一般病床	.	.	.	.	.	.	.	.	.	480.1	490.0	492.5	489.1		
経過の旧 その他の病床	192.9	246.2	315.6	351.3	467.9	608.3	716.9	683.5	683.3	.	.	.	.		
(再掲)経過の旧療養型病床群	.	.	.	.	.	.	.	...	108.7	.	.	.	.		
全 国	人 口	総数	735.1	889.0	1 024.6	1 040.0	1 128.5	1 235.5	1 356.5	1 329.9	1 297.8	1 276.9	1 273.1	1 268.0	1 260.4
	精神病床	101.8	176.0	238.4	248.5	263.9	276.5	290.5	288.1	282.2	277.3	275.8	274.9	273.6	
	感染症病床	24.3	24.6	22.3	18.8	15.6	12.1	9.9	7.9	1.9	1.4	1.4	1.4	1.4	
	結核病床	270.0	224.6	170.6	115.3	72.6	45.6	34.1	26.4	17.8	9.4	9.4	8.3	7.4	
	療養病床	.	.	.	.	.	.	.	.	.	281.2	274.1	268.8	265.8	
	一般病床	.	.	.	.	.	.	.	.	.	707.7	713.0	714.7	712.2	
	経過の旧 その他の病床	323.8	450.3	580.5	644.9	765.9	892.7	1 014.4	1 000.6	995.9	.	.	.	.	
	(再掲)経過の旧療養型病床群	.	.	.	.	.	.	.	16.5	190.0	.	.	.	.	

注) 昭和59年以前は12月31日現在、昭和60年以降は10月1日現在

- 注：1 平成11年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行されたため、「伝染病床」は「感染症病床」に改められた。
- 2 平成13年3月に「医療法の一部を改正する法律」が施行され、「その他の病床」が「療養病床」と「一般病床」に区分されたことに伴い、本調査において平成12年まで便宜上「一般病床」と表章していた「その他の病床」は、平成13年から「療養病床」、「一般病床」、「経過の旧その他の病床」に表章を分割した。
- 3 平成13年3月に施行された「医療法の一部を改正する法律」の経過措置期間満了後の平成15年から、病床の種類は「精神病床」、「感染症病床」、「結核病床」、「療養病床」及び「一般病床」に改められた。
- 4 「経過の旧その他の病床」は、平成12年までは旧医療法第7条第2項に規定する「その他の病床」(通称：「一般病床」)であって、平成13・14年は、「医療法の一部を改正する法律」の施行後、「療養病床」又は「一般病床」のいずれかに移行する届出をしていない病床である。
- 5 「経過の旧療養型病床群」は、「経過の旧その他の病床」のうち、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための一群の病床(平成15年8月までの経過措置)である。(平成5年～平成12年は「療養型病床群」、平成13・14年は「経過の旧療養型病床群」。)
- なお、平成7年の全国の数値は、病院報告の9月末の数値である。
- 6 平成5年～平成14年までの「療養病床」、「一般病床」及び「経過の旧その他の病床」は、「経過の旧その他の病床」の分割方法が異なるため、表2と図2・3において、人口10万対の数値に相違がある。

図2 人口10万対病院病床数の年次推移（埼玉）

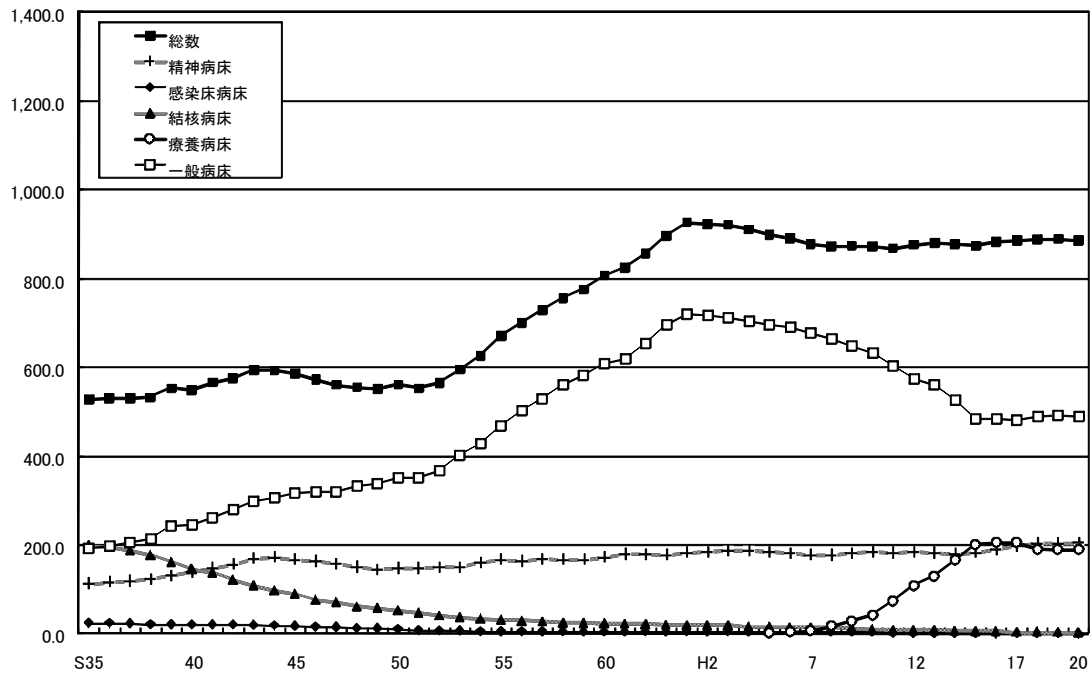
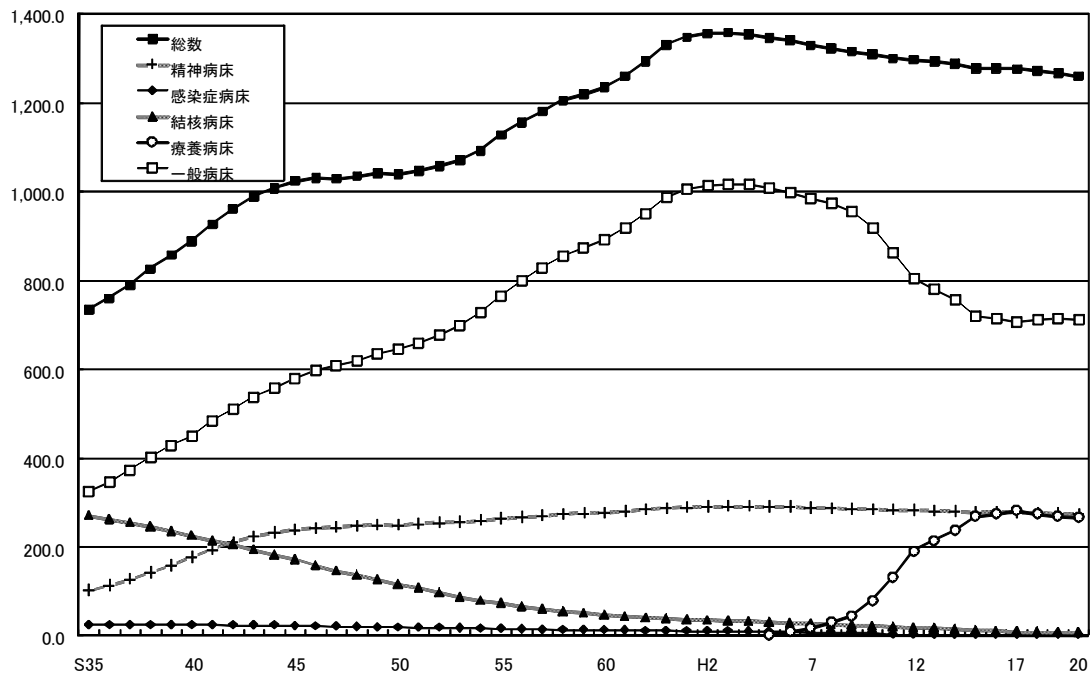


図3 人口10万対病院病床数の年次推移（全国）



注：1 「療養病床」は、平成5年～平成12年までは「療養型病床群」であり、平成13・14年は「療養 病床等」（「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」）である。

2 「一般病床」は、平成4年までは旧医療法第7条第2項に規定する「その他の病床」（通称：一般病床）であり、平成5年～平成12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたものであり、平成13・14年は「一般病床等」（「一般病床」及び「経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群を除く。)」）である。

(3) 病院の利用状況

ア 病床利用率は、80.6%であり、前年(81.3%)に比べ、0.7ポイント低くなっている。これを全国(81.7%)と比較すると1.1ポイント低くなっており、全国第30位である。

精神病床、療養病床、一般病床についてみると、それぞれ90.6%、90.0%、73.1%であり、前年(精神病床90.6%、療養病床91.1%、一般病床74.2%)に比べ、精神病床は同数、療養病床と一般病床はそれぞれ1.1ポイント低くなっている。

これを全国(精神病床90.0%、療養病床90.6%、一般病床75.9%)と比較すると、精神病床は0.6ポイント、療養病床は0.5ポイント高くなっており、一般病床で1.7ポイント低くなっている。全国順位をみると、精神病床は第21位、療養病床は第28位、一般病床は第43位である。(表3、図4、図5)

イ 1日平均在院患者数は、50,845人であり、前年(51,224人)に比べ、379人減少しており、全国第8位である。また、人口10万対平均在院患者数は、714.8人であり、低率順で全国第2位である。

ウ 平均在院日数は、34.6日であり、これを病床の種類別にみると、精神病床は311.5日、感染症病床は10.1日、結核病床は56.3日、療養病床は212.8日、一般病床は18.4日となっている。

これを全国(総数33.8日、精神病床312.9日、感染症病床10.2日、結核病床74.2日、療養病床176.6日、一般病床18.8日)と比較すると、精神病床、感染症病床、結核病床、一般病床は、それぞれ全国を1.4日、0.1日、17.9日、0.4日下回っているが、総数、療養病床はそれぞれ全国を0.8日、36.2日上回っている。は全国と同数である。

(図6、図7)

表3 病床の種類別にみた病床利用率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	18	19	20
埼玉	総数	79.6	84.7	78.5	77.9	80.4	84.8	80.0	83.0	85.1	84.3	82.8	81.3	80.6
	精神病床	115.9	130.2	107.3	107.7	102.6	106.0	97.2	96.8	95.0	91.5	90.2	90.6	90.6
	感染症病床	27.1	10.9	2.7	2.2	1.0	1.2	1.7	0.9	4.2	4.9	4.5	4.9	15.1
	結核病床	76.9	74.9	60.9	64.0	64.6	67.6	53.3	54.8	46.6	48.2	41.5	38.3	44.0
	療養病床	.	.	.	.	.	.	.	...	91.6	94.5	92.6	91.1	90.0
	一般病床	.	.	.	.	.	.	.	...	81.4	77.4	76.1	74.2	73.1
	その他の病床等	68.2	72.3	71.9	69.5	74.3	80.0	76.7	80.4	83.0	.	.	.	.
全国	総数	80.7	82.6	81.6	80.4	83.3	85.8	83.6	83.6	85.2	84.8	83.5	82.2	81.7
	精神病床	106.2	108.0	104.3	101.8	102.4	101.9	97.3	94.3	93.1	91.7	91.1	90.2	90.0
	感染症病床	26.4	16.6	6.1	3.5	2.0	1.3	1.0	1.3	1.8	2.7	2.2	2.2	2.4
	結核病床	78.1	75.4	66.2	60.3	55.4	55.8	48.4	43.0	43.8	45.3	39.8	37.1	38.0
	療養病床	.	.	.	.	.	.	.	89.0	91.9	93.4	91.9	90.7	90.6
	一般病床	.	.	.	.	.	.	.	82.7	82.0	79.4	78.0	76.6	75.9
	その他の病床等	79.7	80.6	80.3	78.5	81.4	83.7	81.9	82.4	83.8	.	.	.	.

注：1 「療養病床」は、平成12年までは「療養型病床群」であり、平成13～15年は「療養病床等」（「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」）である。

2 「一般病床」は、平成12年までは「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたものであり、平成13～15年は「一般病床等」（「一般病床」及び「経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床群を除く。）」）である。

3 「その他の病床等」は、平成12年までは旧医療法第7条第2項に規定する「その他の病床」であり、平成13～15年は「医療法の一部を改正する法律」の施行後の「療養病床」、「一般病床」及び「経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床群を含む。）」である。

図4 病床の種類別にみた病床利用率の年次推移（埼玉）

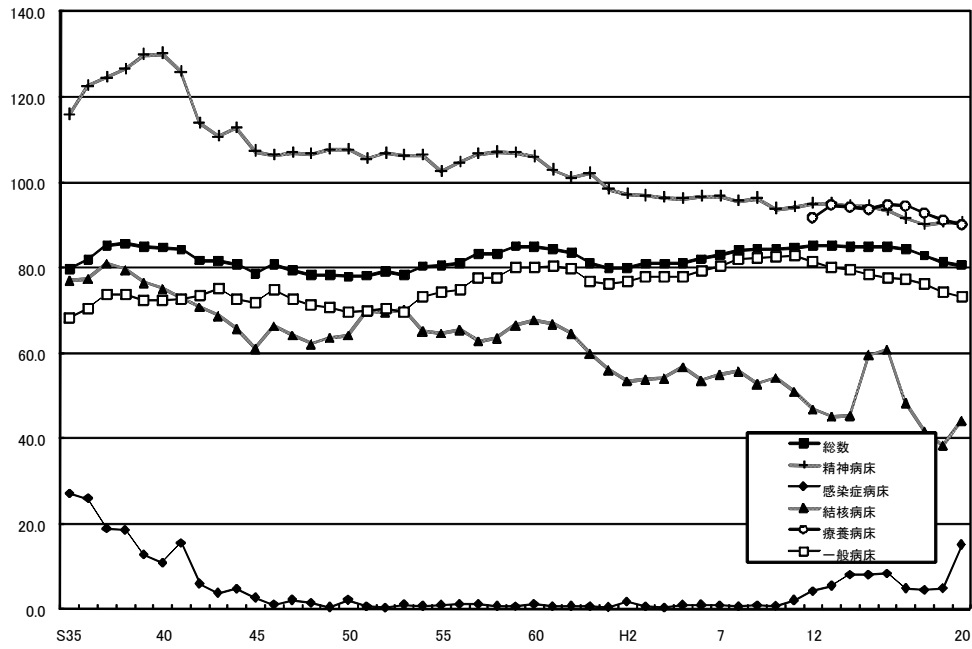
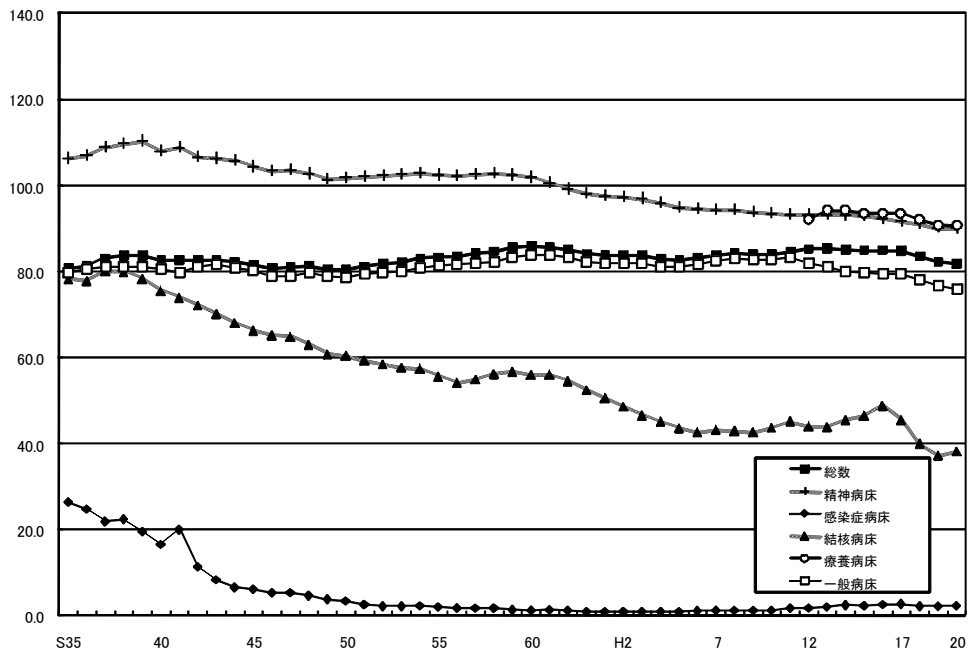


図5 病床の種類別にみた病床利用率の年次推移（全国）



注：1 「療養病床」は、平成12年は「療養型病床群」であり、平成13～15年は「療養病床等」（「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」）である。

2 「一般病床」は、平成11年までは旧医療法第7条第2項に規定する「その他の病床」であり、平成12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたものであり、平成13～15年は「一般病床等」（「一般病床」及び「経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群を除く。)」）である。

図6 平均在院日数の年次推移（埼玉）

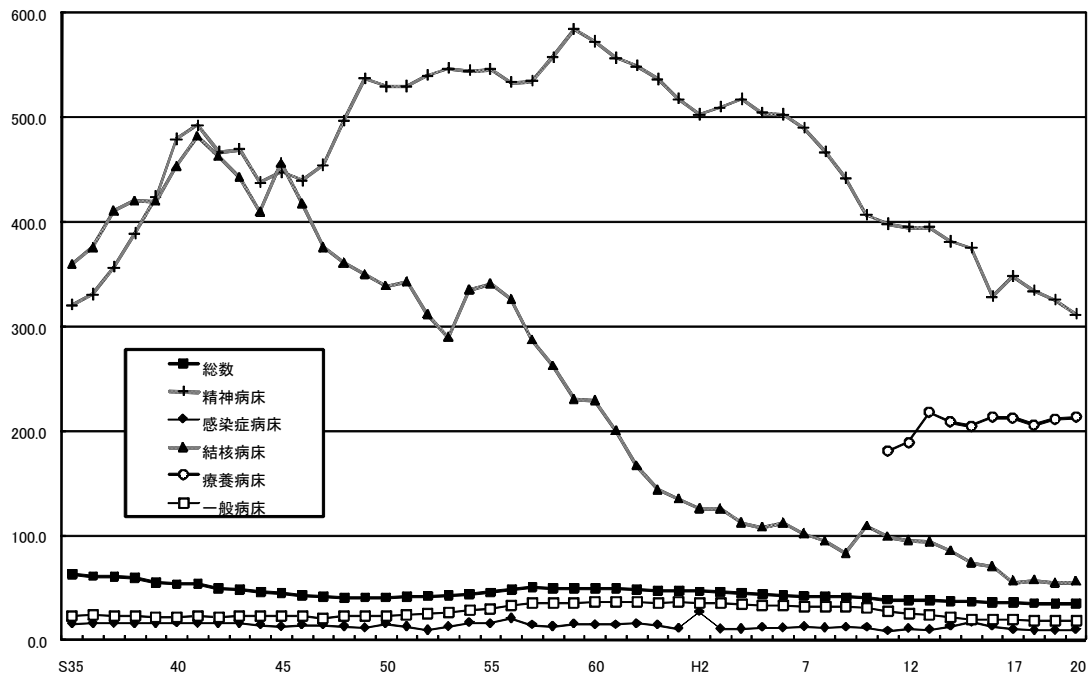
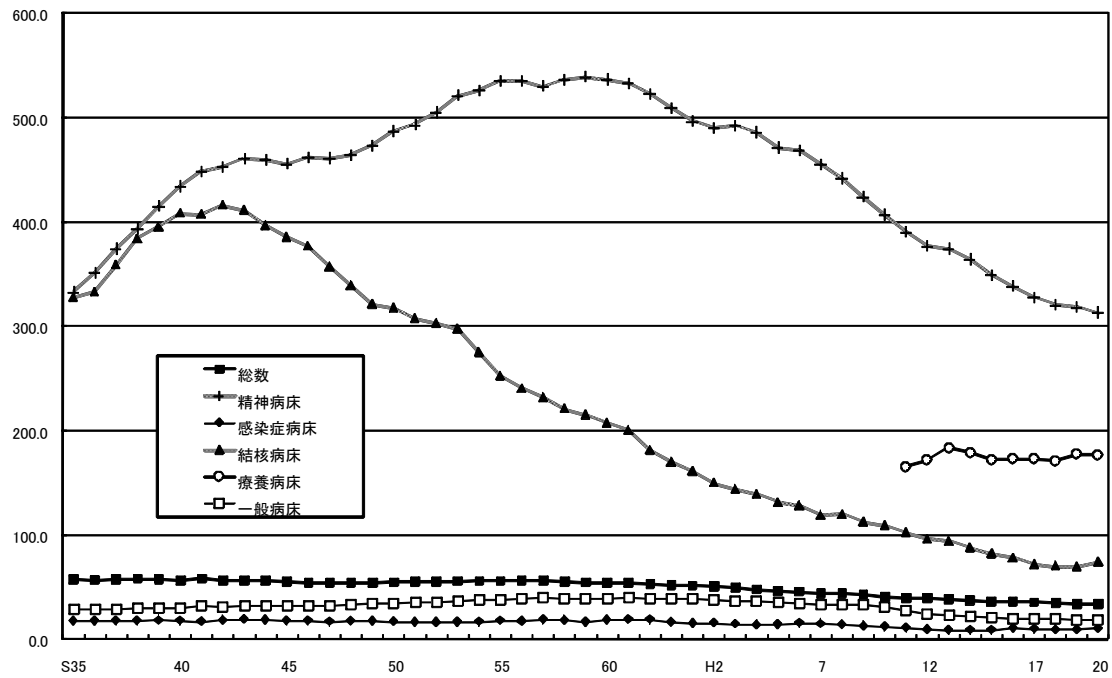


図7 平均在院日数の年次推移（全国）



注：1 「療養病床」は、平成11・12年は「療養型病床群」であり、平成13～15年は「療養病床等」（「療養病床」及び「経過の旧療養型病床群」）である。

2 「一般病床」は、平成10年までは旧医療法第7条第2項に規定する「その他の病床」であり、平成11・12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたものであり、平成13～15年は「一般病床等」（「一般病床」及び「経過の旧その他の病床(経過の旧療養型病床群を除く。)」）である。



(4) 従事者数

ア 平成20年10月1日現在の病院の従事者数は68,998.1人であり、これを職種別にみると、看護師の21,685.0人（従事者総数の31.4%）が最も多く、以下、看護業務補助者の8,753.7人（同12.7%）、准看護師の7,637.7人（同11.1%）の順となっている。

全国の状況を見ると、従事者数は1,771,435.8人であり、これを職種別にみると、看護師の636,970.8人（従事者総数の36.0%）が最も多く、以下、看護業務補助者の189,838.3人（同10.7%）、医師の187,947.6人（同10.6%）の順となっている。

イ 病院1施設当たりの従事者数は193.8人であり、これを全国（201.4人）と比較すると、7.6人少なくなっている。

ウ 100床当たりの従事者数は109.5であり、これを全国（110.0人）と比較すると、0.5人少なくなっている。（図8、表4）

図8 従事者の構成割合

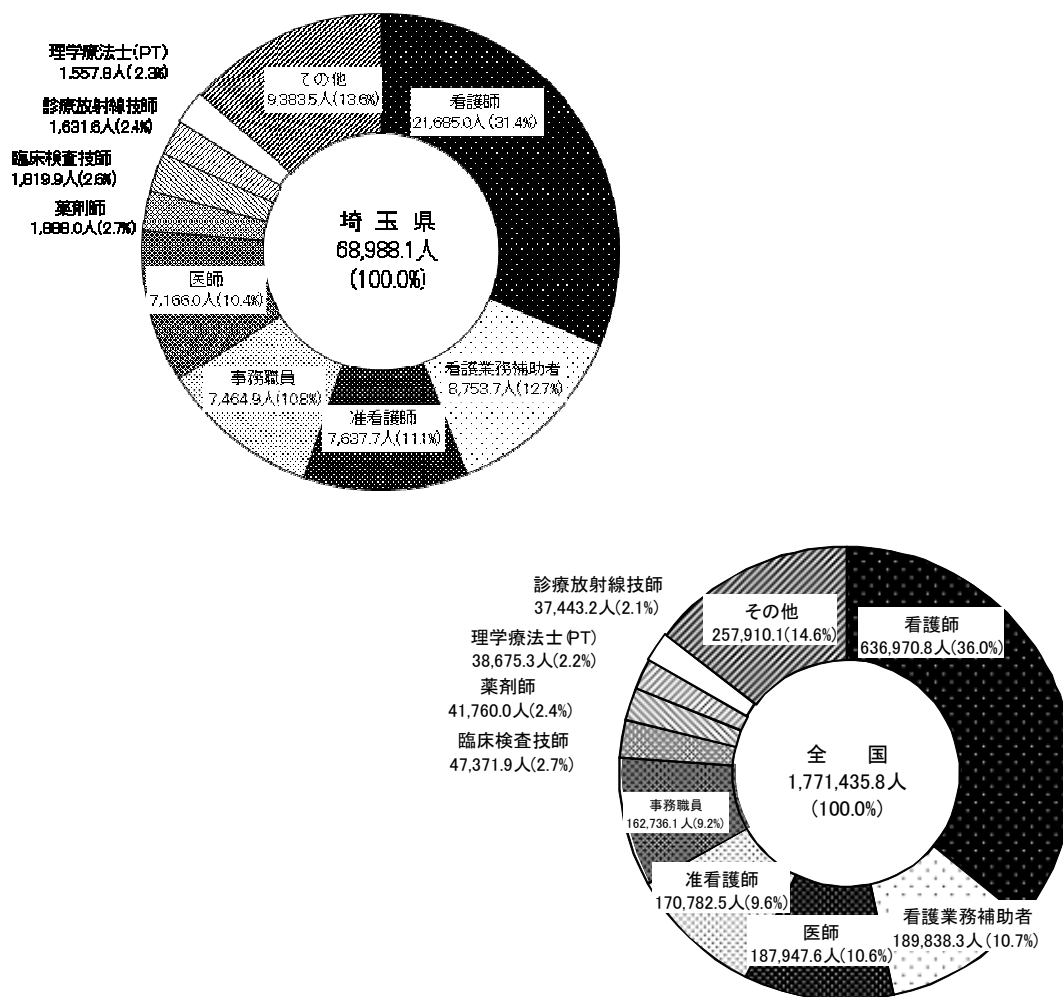


表4 病院の従事者数

平成20年10月1日現在

	従事者数		人口10万対		100床当たり		1施設当たり	
	埼玉	全国	埼玉	全国	埼玉	全国	埼玉	全国
総数	68 988.1	1 771 435.8	969.9	1 387.3	109.5	110.0	193.8	201.4
医師	7 166.0	187 947.6	100.7	147.2	11.4	11.7	20.1	21.4
( 常 勤 )	5 456	150 238	76.7	117.7	8.7	9.3	15.3	17.1
( 非 常 勤 )	1 710.0	37 709.6	24.0	29.5	2.7	2.3	4.8	4.3
歯科医師	433.8	9 981.3	6.1	7.8	0.7	0.6	1.2	1.1
( 常 勤 )	405	8 326	5.7	6.5	0.6	0.5	1.1	0.9
( 非 常 勤 )	28.8	1 655.3	0.4	1.3	0.0	0.1	0.1	0.2
薬剤師	1 888.0	41 760.0	26.5	32.7	3.0	2.6	5.3	4.7
保健師	85.4	3 983.6	1.2	3.1	0.1	0.2	0.2	0.5
助産師	621.0	18 130.7	8.7	14.2	1.0	1.1	1.7	2.1
看護師	21 685.0	636 970.8	304.9	498.8	34.4	39.6	60.9	72.4
准看護師	7 637.7	170 782.5	107.4	133.7	12.1	10.6	21.5	19.4
看護業務補助者	8 753.7	189 838.3	123.1	148.7	13.9	11.8	24.6	21.6
理学療法士(PT)	1 557.8	38 675.3	21.9	30.3	2.5	2.4	4.4	4.4
作業療法士(OT)	875.4	24 456.7	12.3	19.2	1.4	1.5	2.5	2.8
視能訓練士	137.0	2 956.4	1.9	2.3	0.2	0.2	0.4	0.3
言語聴覚士	320.1	7 869.2	4.5	6.2	0.5	0.5	0.9	0.9
義肢装具士	6.2	60.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科衛生士	153.5	4 266.6	2.2	3.3	0.2	0.3	0.4	0.5
歯科技工士	15.0	781.1	0.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.1
診療放射線技師	1 631.6	37 443.2	22.9	29.3	2.6	2.3	4.6	4.3
診療エックス線技師	15.4	312.8	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
臨床検査技師	1 819.9	47 371.9	25.6	37.1	2.9	2.9	5.1	5.4
衛生検査技師	3.5	202.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
臨床工学技士	549.0	11 931.9	7.7	9.3	0.9	0.7	1.5	1.4
あん摩マッサージ指圧師	151.2	2 743.4	2.1	2.1	0.2	0.2	0.4	0.3
柔道整復師	49.0	630.1	0.7	0.5	0.1	0.0	0.1	0.1
管理栄養士	707.2	17 489.3	9.9	13.7	1.1	1.1	2.0	2.0
栄養士	261.0	5 917.6	3.7	4.6	0.4	0.4	0.7	0.7
精神保健福祉士	263.6	6 766.2	3.7	5.3	0.4	0.4	0.7	0.8
社会福祉士	203.8	4 581.2	2.9	3.6	0.3	0.3	0.6	0.5
介護福祉士	973.0	27 481.0	13.7	21.5	1.5	1.7	2.7	3.1
その他の技術員	470.1	15 900.2	6.6	12.5	0.7	1.0	1.3	1.8
医療社会事業従事者	346.4	9 200.9	4.9	7.2	0.5	0.6	1.0	1.0
事務職員	7 464.9	162 736.1	104.9	127.4	11.8	10.1	21.0	18.5
その他の職員	2 742.9	82 267.1	38.6	64.4	4.4	5.1	7.7	9.4

注) 非常勤の医師及び歯科医師については当該施設の常勤医師及び歯科医師の通常勤務時間で換算した。